

2011年  
クイーン倶楽部だより 5月号  
第101号

ERIN 有限会社エコ・ライス新潟  
新潟県長岡市諫川新田町字前島970-100  
TEL 0258(66)007 FAX 0258(66)0447  
URL <http://eco-rice.jp/>  
E-mail [eco-net@nekonet.ne.jp](mailto:eco-net@nekonet.ne.jp)

東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます

被災された地域の皆様、及び被災された地域のご家族、関係者の皆様に対し心よりお見舞い申し上げます。震災地域の日も早い復興をお祈り申し上げます。

22年産米のお届けについてのお詫びとお願い

地震の影響により、現在お届けしている22年産のお米につきまして、新規のご注文、ご予約分以上の数量追加は承りが難しい状態になっております。会員の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。



苗箱の中ですくすくそだつ苗。田んぼに植えるまでにはまだもう少し時間がかかります。

お米作りいよいよスタート!

寒さに負けずに育て苗!

まだまだ寒さ残る4月ですが、新潟の米づくりは本格的にスタート。

猛暑だった去年、米も異常を察知したようで例年よりも種初めのガードが固く、あたたかい水に漬けないとなかなか発芽しません。異常気象続きで生産者の培ってきた「勘」がなかなか生かせませんが、今年も美味しいお米をお届けできるよう、がんばります!



今回も前回に引き続き放射能汚染について述べてみます。薬の作用を示す物質は、身体に対しては「少量で興奮、大量で抑制」の作用があります。つまり、薬作用は少量で薬作用、大量で毒作用を示すということです。西洋薬は単一化学物質ですからグラムで大量投与であり、ミリグラム量が普通です。お酒は薬作用を示す典型です。少量ですと血流が増加し元気になる。毎日少量の飲酒は全く飲まない人より長生きの効果を示します。この少量飲酒を「適正飲酒」と呼びます。しかし、大量飲酒では内臓を侵し、依存症にもなります。ウコンなどの健康食品も少量で元氣付け、大量で内臓障害を起こします。売り手が大量摂取を勧めますと犯罪行為を起こすかもしれません。

現在騒がれている放射線も同様です。現在の野菜や雨に混じる放射線量は微量です。微量摂取では毒になりません。キュリー夫妻が放射線を取り出した頃は、元氣の素ともはやされました。強力線量の取り出しが可能になると、その危険性が認識されてきました。

食品に放射線をかけて食品を長持ちさせた「放射線照射食品」があります。カビ、細菌発生防止、出芽防止などの長期保存のために放射線をかけます。抑制ですから大量照射です。人体には害がないといいますが、WHOも認め、世界的に普及していますが、日本ではジャガイモの出芽予防用だけです。放射線はジャガイモの中で熱に変わりますので、放射能は残存しません。

原発事故による放射線は、食品の上につりかかり付着します。それを食べれば体内に入り、放射能を出します。微量は問題ないですが、蓄積して大量になれば問題です。付着ですので水で洗い流されますが、牛乳、水は赤ちゃんには避けるべきです。放射線の微量付着を人体に悪い、猛毒であるような報道では科学的でなく、いたずらに不安を抱かせ、風評被害を生じさせます。マスコミは豚インフルエンザにかかれば死ぬ式で日本中を恐怖に陥れた過去があります。風評被害はマスコミが作り上げた産物でもあるのです。

現在、放射線はどこから大量と言つべきかはつきりしません。過去の原爆事件を参考にして安全、要注意、危険の3段階レベルの実用性のある基準を明確にし、はつきり国民に状況を示すべきでしょう。

ドクター中村の  
**健康徒然記**  
その3

少量で薬、大量で毒



中村 信也(なかもら のぶや)  
医学博士、東京家政大学家政学部栄養学科教授として教鞭をとり、「食と医療の医学薬理研究の第一人者」として活躍中。